

結果概要

平成 29 年度愛媛県社会教育実態調査（指定テーマ調査）



1 テーマ 放課後や休日等の子どもの過ごし方

2 調査概要（調査結果 P 1、データ編 P 1）

- (1) 調査時期 平成 29 年 11 月 6 日(月)～16 日(木)
- (2) 調査方法 調査票 1(小学 5 年生※以下「小 5」対象)、調査票 2(中学 2 年生※以下「中 2」対象)により、児童生徒の状況について調査を実施した。
- (3) 調査対象 県内の小 5 児童及び中 2 生徒(東中南予別に学校を抽出し依頼)
回答:小 5…890 名、中 2…847 名、計 1,737 名(回収率 97.4%)

3 主な集計結果（調査結果 P 2～13、集計結果 1）

(1) 放課後や休日等の過ごし方のイメージ

- ・ 主な集計結果の最多ないし上位の回答等に基づき、放課後や休日等の過ごし方のイメージ(全体像)を別紙 1(小 5)及び別紙 2(中 2)のとおりまとめた。

(2) 起床・就寝時刻及び朝ごはんの頻度の特徴

- ・ 小 5 では、午前 6 時 30 分までに 74.3%が起床し、午後 10 時までに 66.1%が就寝し、朝ごはんは 83.8%が毎日食べている。
- ・ 中 2 では、午前 6 時 30 分までに 59.2%が起床し、午後 11 時以降に就寝しているのは 43.5%である。朝ごはんは 82.8%が毎日食べている。

(3) 自己肯定感の特徴（自己肯定感に関する 6 つの設問）

- ・ 「毎日が楽しい」「自分のことを大切に思ってくれる人がいる」「自分の将来に希望をもっている」「まわりの人の役に立ちたい」では約 8 割から約 9 割の児童・生徒が肯定的回答をしている。また、学年が上がると肯定的回答の割合はやや下がる傾向。
- ・ 「地域の人たちとの活動が好きである」「地域の人たちとの活動には自ら進んで参加している」の肯定的回答は約 6 割から約 7 割と他の項目と比べてやや低い。

(4) 放課後や休日に家でよくしていることの特徴

- ・ 家では小 5、中 2 及び放課後、休日ともに勉強が最も多く、次いでテレビや DVD を見たり、家族と話をしたりすることが多い。次いで多いのは、小 5 は「ゲームをする」、中 2 は「メールやインターネットをする」で半数を超過。
- ・ 半数以上が回答した項目数は、小 5 より中 2 で多く、勉強、読書・音楽鑑賞、趣味といった能動的な活動の回答率も、小 5 より中 2 の方が高い。

(5) 放課後や休日によく行くところの特徴

- ・ 小 5 の放課後は、習い事の教室が最も多く 60.4%。休日は、ショッピングセンターやスーパー、コンビニ等が最も多く 58.1%、次いで友達の家が 50.6%。
- ・ 中 2 は、放課後、休日ともに部活動等のための学校で放課後 75.7%、休日 71.1%。また、放課後は 42.0%が学習塾へ行き、休日は 64.3%がショッピングセンターやスーパー、コンビニ等へ行っている。

(6) 放課後や休日によく話したり一緒に何かをしたりする人の特徴

- ・ 小 5 の 1 位は「家族・親戚」で 88.9%、次いで「友達」が 74.4%。中 2 の 1 位は「友達」で 89.5%、次いで「家族・親戚」が 79.5%。

(7) 放課後や休日の友達との遊びの特徴

- ・ 小 5、中 2 ともに 4 人に 3 人は友達と遊んでおり、2 人～3 人で遊ぶことは多いものの、おおぜいで遊んだり上級生や下級生と遊んだりするのは 2 人に 1 人。

(8) 放課後や休日の家の手伝いの特徴

- ・ 手伝いを「よくする」「ときどきする」のは小5で76.7%、中2で66.6%。また、「自ら進んで行っていたり任されていたりする」のは小5で79.4%、中2で68.5%と家庭内での自分の役割を意識していることがうかがえる。

(9) 放課後や休日の家での勉強時間の特徴

- ・ 小5、中2ともに、「1時間くらい」が最も多いが、回答は「15分くらい」から「2時間くらいかそれ以上」の各選択肢に分散。休日には小5と比べて中2が長い傾向。

(10) 1か月に読む本の冊数の特徴

- ・ 1か月に読む本の平均冊数は、小5で8.9冊、中2で3.5冊。回答頻度の最も多いのは、小5で10冊11.3%、中2で2冊21.6%。また、0冊は小5、中2ともに3位で小5が10.0%、中2で17.4%。

(11) 放課後や休日の学習塾（含：家庭教師）への通いの特徴

- ・ 小5で33.4%、中2で47.7%が通っており、地域特性別では都市部>住宅部>小集落の傾向。
- ・ 頻度や内容については、小5は週に2回が50.2%、1回が26.6%に対し、中2は週に2回が44.6%、3回が21.5%と回数が多い傾向。内容は、小5が1位「算数」、2位「国語」に対し、中2は1位「英語」2位「数学」。

(12) 放課後や休日の習い事（含：武道やスポーツ）への通いの特徴

- ・ 小5で73.3%、中2で33.5%が通っている。
- ・ 頻度や内容については、小5は週に1回が23.0%、2回が19.3%、3回が19.9%、4回が16.7%、5回が11.3%に対し、中2は週に1回が44.6%、2回が23.9%と回数が増える傾向にある。
- ・ 内容は、小5、中2ともに1位「球技」、2位「音楽」で、3位は小5が「習字」、中2が「武道」。

(13) 学校等における地域の人の活動に対する子どもたちの認知状況に関する特徴

- ・ 8項目のうち、回答率が50%を超えるのは小5で3項目、中2で2項目あり、小5では、6項目で3割以上と一定の認知度のあることが認められる。

(14) 地域の活動への参加状況の特徴

- ・ 「よく参加している」「ときどき参加している」のは小5で75.8%、中2で65.9%。参加しない理由として小5は「どんな活動があるのか知らない」48.5%、「参加する時間がない」41.6%、中2は「参加する時間がない」「地域の活動に興味がない」ともに41.9%。

4 主な分析結果（調査結果P14~23、分析結果1~8）

(1) スクールバスで通学する子どもたちの放課後や休日等の過ごし方の関係の特徴（分析結果1）

- ・ スクールバスで通学する子どもたちは、全体と比較して、早寝早起きで、地域の活動によく参加し、地域の人や異学年の友達との交流が多いものの、学習塾や習い事など学習環境には相対的に不利な状況にある。

(2) 「早寝早起き朝ごはん」と自己肯定感の関係の特徴（分析結果2）

- ・ 早寝早起きし、毎日朝ごはんを食べる子ほど自己肯定感が高い。

(3) 家の手伝いと自己肯定感の関係の特徴（分析結果3）

- ・ 家の手伝いをよくする子ほど自己肯定感が高い。

(4) 地域の活動への参加状況と放課後や休日等の過ごし方の関係の特徴（分析結果4）

- ・ 学習塾へ通う頻度が高いほど地域の活動へ参加していない傾向。一方、習い事では、通っている子の方が通っていない子より地域の活動へ参加する頻度が高い。
- ・ 部活動(中2のみ)に参加している生徒ほど地域の活動へ参加する傾向。

(5) 学習塾への通いと放課後や休日等の過ごし方の関係の特徴（分析結果5）

- ・ 学習塾へ通う頻度が高いほど就寝時刻は遅くなる傾向。学習塾に通っている子の家での勉強時間は通っていない子よりも長い傾向。

(6) 習い事への通いと放課後や休日等の過ごし方の関係の特徴（分析結果6）

- ・ 習い事へ通う頻度と就寝時刻との関係性は認められなかった。

- ・ 習い事の内容では、男女別に特徴があり、小5、中2に共通する上位は、男子では「球技」「武道」で、女子は「音楽」「習字」「球技」。

(7) 読書と放課後や休日等の過ごし方の関係の特徴（分析結果7）

- ・ 読書の冊数が多い子ほど就寝時刻が早く、放課後の家での勉強時間が長い傾向。
- ・ 読書をする子は、しない子より家で勉強をしたり家族と話をしたりする割合が高い。
- ・ 読書をする子は、ゲームをする割合が低く、中2では、メールやインターネットをする割合が低い傾向。

(8) 祖父母との同居と放課後や休日等の過ごし方の関係の特徴（分析結果8）

- ・ 今回の調査では、目立った関係性は見られなかった。

5 調査結果のまとめ（今後考えられる3つの方向性の提案）（調査結果P23～24）

(1) 放課後や休日を対象とした支援の必要性

- ・ 安全・安心な居場所づくりや学習環境が不利な状況の解消など、学習支援、体験活動等の提供において、公民館の活用やPTA、愛護班、ボースカウト、見守り隊等の多様な実施主体による地域の実情に合わせた取組みが期待される。

(2) 「早寝早起き朝ごはん」や読書、手伝い等の習慣化の必要性

- ・ 放課後や休日等の支援を行う際に、基本的な生活習慣の確立や読書、家の手伝いの習慣化の支援を取り入れながら、学校・家庭・地域が一体となって取り組む必要があること。

(3) 子どもたち、特に中学生への活躍の場の提供の必要性

- ・ 地域活動の主催者（愛護班、自治会等の各種団体や公民館等）は、中学生に対する地域活動への参加呼びかけや役割づくりを積極的に行い、活躍の場を提供する必要があること。
- ・ 地域の子どもは地域で育てる機運の醸成を図り、学校・家庭・地域が一体となって中学生や高校生、大学生も含めた次世代を育成する必要があること。

別紙 1

放課後や休日等の過ごし方のイメージ(小5の場合)

早寝早起き朝ごはん

午前6時から6時 30 分までの間に起床する子が約6割、午前6時 30 分までに7割強が起床。朝ごはんは8割以上が毎日、9割以上が週5日以上食べている。約9割が徒歩で通学し、10 分くらいで約4割が学校に着き、約3割は 20 分くらいかかっている。夜は、午後9時～10 時にかけて約6割が就寝し、9割以上が午後 11 時までには就寝。

自己肯定感

6つの自己肯定感のうち次の5つ(各項目とも「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計が約8～9割)は当てはまる。①毎日が楽しく、②自分のことを大切に思う人がいると思っており、③将来にも希望をもち、④地域の人たちとの活動が好きで、⑤まわりの人の役に立ちたいと考えている。次の6つ目はやや当てはまっている(「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせても7割弱)。⑥地域の人たちの活動には進んで参加している。

放課後の過ごし方

放課後は、①習い事の教室に約6割が行ったり、約3割が②友達の家へ行ったり、③ショッピングセンターやスーパー、コンビニ等に立ち寄り、④学習塾に行ったりしている。

また、家では、①勉強を約9割がしたり、②テレビやDVDを約7割が見たり、③家族と話を約6割がしたりしている。

休日の過ごし方

休日も放課後と同様に約7割が①家で勉強したり、②テレビやDVDを見たり、③家族と話を約6割がしたりしている。また、休日には、①ショッピングセンターやスーパー、コンビニ等に約6割が、約5割が②友達の家や、③習い事の教室によく出かけている。

人との関わり

放課後や休日によく話をするのは、①家族や親戚が約9割、②友達が約7割、③学習塾や習い事、スポーツ活動の先生が約4割の順。

放課後や休日に、友達とよく遊ぶかときどき遊んでいる子が約7割。遊ぶ時には、2～3人の友達と遊ぶことがよくある子は約7割、おおぜいでときどき遊ぶ子は約4割、上級生や下級生とよく遊ぶかときどき遊んでいる子は約5割。

手伝い

放課後や休日に家の手伝いはときどきする子が約5割、よくする子を合わせると8割。そのうち、自ら進んで行っていたり任されていたりする手伝いがあるのは約8割。主な手伝いは、①食事の準備や片付けが約6割、②家の中の掃除が約4割、③ペットの世話が約3割の順。

家での勉強時間・読書

放課後と休日の勉強時間は、1時間くらいが最も多く、1時間以上は放課後で約6割、休日で約5割。この1か月で読んだ本の平均は1人当たり8.9冊で、0冊が1割、5冊までが5割。

学習塾・習い事

放課後や休日に、学習塾に通っている子は約3割。習い事には約7割が通い、内容は、①球技が約4割、約3割が②音楽、③習字、④水泳。

地域との関わり

地域の人々の活動で見たり聞いたりしているものとしては、①登下校の指導や見守りが約9割、②運動会や文化祭の準備や片付けが約7割、③学校の図書室の整理や本の読み聞かせが約6割など。

地域の活動にときどき参加している子が約4割、ほぼ同数の子がよく参加。内容は、①地域の祭りや伝統行事が約8割、約4割が②愛護班や子ども会の活動、③地域の清掃等のボランティア活動、④地域の運動会の順。

別紙 2

放課後や休日等の過ごし方のイメージ(中2の場合)

早寝早起き朝ごはん

午前6時から6時 30 分までの間に起床する子が約5割、午前6時 30 分までに約6割が起床し、朝ごはんは8割以上が毎日、9割以上が週5日以上食べている。徒歩、自転車で通学する子は、それぞれ約4割、10 分くらいで学校に着く子は約6割、約9割が 20 分くらいのうちに学校に着いている。夜は、約4割が午後 11 時以降に就寝。

自己肯定感

6つの自己肯定感では、次の4つ(各項目とも「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計が約8～9割)が当てはまっている。①毎日が楽しく、②自分のことを大切に思う人がいると思っており、③将来に希望をもち、④まわりの人の役に立ちたいと考えている。また、次の2つ(「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせても約6～7割)はやや当てはまっている。⑤地域の人たちとの活動が好きで、⑥地域の人たちの活動には進んで参加している。

放課後の過ごし方

放課後は、①部活動のため学校で7割以上が過ごし、②学習塾に約4割が、③ショッピングセンターやスーパー、コンビニ等に約3割が行っている。

また、家で、①勉強を約8割がしたり、約6割が②家族と話をしたり、③テレビやDVDを見たりして過ごしている。

休日の過ごし方

休日は、家で勉強を約7割がしたり、約6割が②テレビやDVDを見たり、③家族と話をしたりしている。また、①部活動のため学校に約7割が、②ショッピングセンターやスーパー、コンビニ等に約6割が、③友達の家には約4割がよく出かけている。

人との関わり

放課後や休日によく話をするのは、①友達が約9割、②家族や親戚が約8割、③学習塾や習い事、スポーツ活動の先生が約2割の順。

放課後や休日に、友達と遊ぶことがよくあるかときどきある子は約8割、遊ぶときには、2～3人でよく遊ぶ子が約6割、おおぜいでときどき遊ぶ子が約4割、上級生や下級生と遊ぶことがあまりないかほとんどない子が約6割。

手伝い

放課後や休日に家の手伝いをときどきする子が約5割、よくする子をあわせると約7割。そのうち、自ら進んで行っていたり任されていたりする手伝いがある子は、約7割。主な手伝いは、①食事の準備や片付けが約6割、②家の中の掃除が約4割、③洗濯が約3割の順。

家での勉強時間・読書

放課後と休日の勉強時間は、ともに1時間くらいが最も多く、1 時間以上は、放課後、休日ともに約6割で、休日がやや多い。この1か月で読んだ本の平均は1人当たり3.5冊で、0冊が約2割、2冊までで約6割。

学習塾・習い事

放課後や休日に学習塾に通っている子は約5割。習い事には約3割が通い、内容は約3割が①球技、②音楽。

地域との関わり

地域の人々の活動で見たり聞いたりしているものとしては、①登下校の指導や見守りが約8割、②運動会や文化祭の準備や片付けが約6割、③部活動の指導が約4割など。

地域の活動には約4割がときどき参加しており、よく参加するを合わせると約7割。内容は、①地域の祭りや伝統行事が約9割、②地域の清掃等のボランティア活動が約4割、③地域の運動会などが約3割。